



わかば会通信

社会福祉法人わかば会 特別養護老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅

～繋がる手と手～



60号

発行
社会福祉法人わかば会

編集 2022年8月1日発行
広報・レク委員会

わかば夏祭り

わかば会の夏祭りは今年で5回目を迎えました。コロナ禍にあるため、今年も家族様や地域の方をお迎えせず、規模を縮小しての開催となりました。

わかば職員による
ソーラン節！！



岡本フキ子御一行様の
民謡ショー！！



一緒に踊る方も
いらっしゃいました



壮亮社長が
飛び入り参加！



岡本フキ子御一行様とのコラボ！



晴れていた午前中には外で職員たちが
焼きそばや焼き鳥を焼きました



歌に合わせて手拍子したり
一緒に口ずさんだりしていました





WNSTの活動

池田グループ内の暮らし部門(介護事業部門)では、お客様の生活を栄養の視点から

サポートすることを目的に「WNST」を立ち上げ活動しています。

わかば Wakaba 栄養 Nutrition サポート Support チーム Team

「KTバランスチャート」

KT=口から食べる

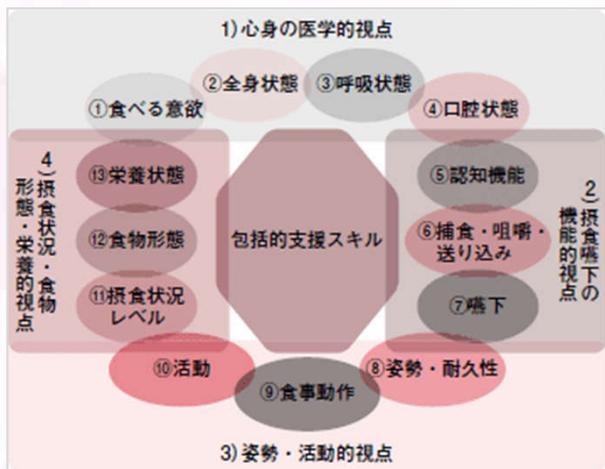


「食べる意欲」「口腔状態」「姿勢・耐久性」など(※1)様々な視点から食支援を包括的に支援できるように作られたツール。レーダーチャート(※2)に描くことで「見える化」し客観的に分かりやすい。継続的にレーダーチャートを比べることで、直感的に改善具合も把握できる。改善しなかった項目に関しては介入プラン再計画の的にできる。

出典：小山珠美(編集)：口から食べる幸せをサポートする包括的スキル-KTバランスチャートの活用と支援, 第2版. pp.12-92, 医学書院, 2017.

現在、わかばの介護施設では「KTバランスチャート」を使ってお客様へ食支援を行っています。

お客様一人ひとりの改善点を洗い出し、多職種で情報を共有することで口から食べるための支援を行います。



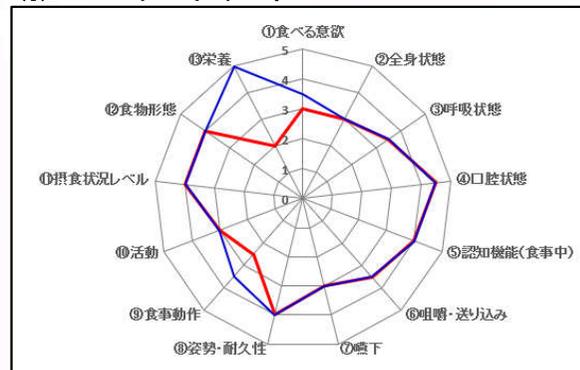
事例紹介

利用者様A 90代 脳梗塞となり軽度の右麻痺が残った。

項目	R4年1月評価(退院直後)	R4年4月評価
①食べる意欲	3	3.5
②全身状態	3	3
③呼吸状態	3.5	3.5
④口腔状態	4.5	4.5
⑤認知機能(食事中)	4	4
⑥咀嚼・送り込み	3.5	3.5
⑦嚥下	3	3
⑧姿勢・耐久性	4	4
⑨食事動作	2.5	3.5
⑩活動	3	3
⑪摂食状況レベル	4	4
⑫食物形態	4	4
⑬栄養	2	5

①食べる意欲
⑨食事動作
⑬栄養
の評価点がアップ!

※2 レーダーチャート



元々右利きで右手で食べていたが、右麻痺となり、麻痺が残った右手でも元々の利き手でない左手でも食具を使って上手く食べる事ができず、退院直後では入院前と比べて「①食べる意欲」「⑨食事動作」「⑬栄養」の評価点数が低かった。

職員が食事介助することで食事摂取量が増え体重も戻ってきている。自助食器(※3)を使用し、急がず自身で食べていただくように見守り続けると、徐々に食事動作の改善が見られた。これに伴い食べる意欲も入院以前ほどに戻りご自分で召し上がることが増えてきた。現在では、やや麻痺の残る右手でも、元々の利き手でない左手でも食べられるようになった。



※3 自助食器
上手に身体を動かすことのできない人のための食器

※1 口から食べるための包括的評価視点と支援スキルの要素



わかば会通信

社会福祉法人わかば会 特別養護老人ホームわかばイースト



◆発行
社会福祉法人わかば会

◆編集 令和4年8月1日
広報・レク委員会



ケアビレッジイースト

WNSTの活動



池田グループ内の暮らし部門(介護事業部門)

では、お客様の生活を栄養の視点から

サポートすることを目的に「WNST」を立ち上げ活動しています。

わかば 栄養 サポート チーム
W akaba N utrition S upport T eam

「KTバランスチャート」

KT=口から食べる



「食べる意欲」「口腔状態」「姿勢・耐久性」など(※1)多角的項目から食支援を包括的に支援できるように作られたツール。レーダーチャートに描くことで「見える化」し多職種情報共有に役立つ。継時的にレーダーチャートを比べることで、直感的に改善具合も把握できる。改善しなかった項目に関しては介入プラン再計画的にできる。

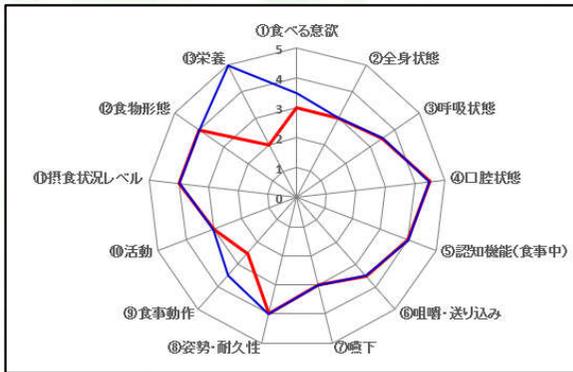
出典：
小山珠美(編集)：口から食べる幸せをサポートする包括的スキル-KTバランスチャートの活用と支援，第2版，pp.12-92，医学書院，2017。

現在わかばグループ内の介護施設では「KTバランスチャート」を使用し、お客様への食支援を行っています。お客様一人ひとりの改善点を洗い出し、多職種で情報を共有することで多角的に改善案を探して実践しています。

事例紹介

項目	R4年1月評価(退院直後)	R4年4月評価
①食べる意欲	3	3.5
②全身状態	3	3
③呼吸状態	3.5	3.5
④口腔状態	4.5	4.5
⑤認知機能(食事中)	4	4
⑥咀嚼・送り込み	3.5	3.5
⑦嚥下	3	3
⑧姿勢・耐久性	4	4
⑨食事動作	2.5	3.5
⑩活動	3	3
⑪摂食状況レベル	4	4
⑫食物形態	4	4
⑬栄養	2	5

※2 レーダーチャート

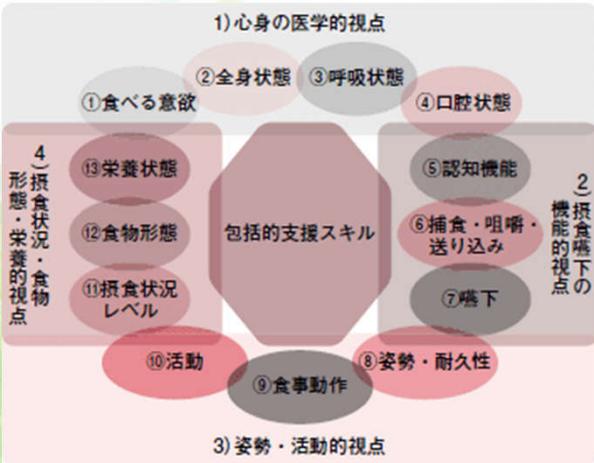


元々右利きで右手で食べていたが、右麻痺となり、麻痺が残った右手でも元々の利き手でない左手でも食具を使って上手く食べることができず、退院直後では入院前と比べて「①食べる意欲」「⑨食事動作」「⑬栄養」の評価点数が低かった。

職員が食事介助することで食事摂取量が増え体重も戻ってきている。自助食器(※3)を使用し、急がず自身で食べていただくように見守り続けると、徐々に食事動作の改善が見られた。これに伴い食べる意欲も入院以前ほどに戻りご自分で召し上がることが増えてきた。現在では、やや麻痺の残る右手でも、元々の利き手でない左手でも食べられるようになった。



※3 自助食器
上手に身体を動かすことのできない人のための食器



※1 口から食べるための包括的評価視点と支援スキルの要素



わかば会通信

社会福祉法人わかば会 特別養護老人ホームわかばイースト



◆発行
社会福祉法人わかば会

◆編集 令和4年8月1日
広報・レク委員会



ケアビレッジイースト

七夕そうめんをいただきました☆彡



おやつには七夕ゼリーを提供しました。
暑い季節にピッタリのサイダーゼリー！
そうめんゼリーと夏を感じられる
1日となりました☀



七夕に願いを込めて



笹には皆さんの
願いが込められた短冊が
かけられました。
今年は天気も良く
織姫と彦星はきっと会えた
のではないのでしょうか…



職員が素敵な織姫の
絵を書いてくれました！
「めんこいな」と大好評です



火災の避難訓練をしました



火災を想定した避難訓練を
実施し、お住まいの方・職員
と安全に避難できました。
コロナが収束したころには
地域の方々と連携した訓練を
させていただきたいです



7月7日 七夕メニュー

- 七夕そうめん
- えび天・かき揚げ
- 野菜のゼリー寄せ
- スイカ